

親子で協力 工作に挑戦

登米市津山町 もくもくランド

【登米支局】登米市津山町の「道の駅」津山もくもくランドで地元産材を使った「もくもく親子工作教室」が開かれており、親子などが触れ合いながら思い思いの作品作りを楽しんでいる。

もくもくランドともくもくハウスが毎年開いており、作品はもくもく工作コンクールに出品できる。

初日の19日には、大崎、栗原、仙台などから21組約60人が参加。津山木工芸品事業協同組合の工人の指導で、



工人の指導を受け、思い思いの作品を作る親子。左から大崎市の小学生。

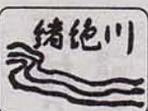
工人の指導でオリジナル作品を

初日(19日)大崎、栗原などから21組60人参加

同地区の特産品、杉の手づきで金づちやのこぎりなどを使って製作。用意してある木の枝や持参した材料などを組み合わせたオリジナル作品作りを挑戦した。

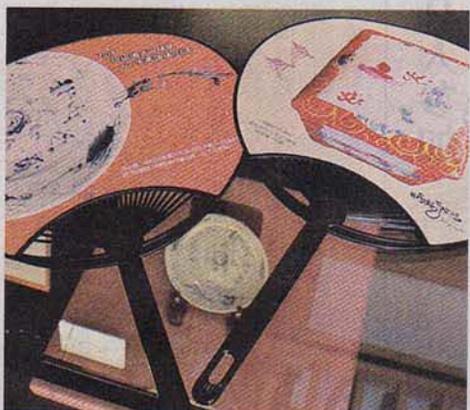
参加者は、慣れない

「工作は好きなので楽しんで、慣れない



つちわ
を片手に涼みながら、幻の陶磁器"を"覧あれ。

涼しげうちわ型観覧券



加美町宮崎の切込焼記念館が用意した夏限定観覧券は、ユニークなうちわ型写真Ⅱ。来館者がパタパタとあおぎながら行き交う姿は実に涼しげ。

「切込瀬戸山棟のコーナーも。宮崎から岩出山へと嫁いだ女性「つね」の遺品を通じて、切込焼の魅力に惹かれることができる。



協力して作品作りする参加者

表裏に印刷されているのは、陶工が娘の嫁入り道具として仕上げたごん身の作。晴れやかな色使いと趣向の凝らされた絵柄がひときり目を引く。

「珍しい「うちわ観覧券」は9月28日までの期間限定ですが、ぜひお持ちください。問い合わせは同館へ。電話0225(969)5751。

写真の方 1週間以内に大崎タイムス社までご連絡下さい。この写真を記念に差し上げます。また、連絡をいただいた方の中から月間賞も決定します。発表をお待ち下さい。

大崎タイムス社編集局

※ワールドカップの熱気を前に激しいめぐみ合い=6月7日、遠田郡中総体で

スナップチャンス

22日の運勢

竹中無想庵の中国易学無想占術

6月	5月	4月	3月	2月	1月
75	80	40	40	70	70
50	70	60	60	70	60
60	65	55	55	75	40
45	60	50	40	60	60

(数字は100満点)

賞を狙いたい」と話していた。

工作教室は8月3日までの土、日曜日午前10時から開催。定員各日20組で参加費1000円。27日は満員になっている。

申し込み、問い合わせはクラフトショップ0225(69)2341。

高清水の国道4号